

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設の研究用）

西暦 2018年 2月 24日作成

研究課題名	静脈注射ブスルファン量が急性骨髄性白血病に対する臍帯血移植の成績に与える影響の解析
研究の対象	2006年から2016年の期間に Fludarabine/Busulfan の前処置後に臍帯血移植を受けた16才以上の急性骨髄性白血病
研究目的 ・方法	本研究は急性骨髄性白血病に対する臍帯血移植における Fludarabine/Busulfan の最適な Busulfan 量を明らかにすることを目的とする。後方視的な解析を行う。
研究期間	西暦 2018年 4月 12日 ～ 西暦 2019年 3月 31日
研究に用いる 試料・情報の種類	TRUMP データ(造血細胞移植学会の全国規模の登録データ)：前処置情報（薬剤量・放射線量）・患者情報(年齢・性別・血液型・移植時 Performance Status)・疾患情報(診断日・初診時白血球数・初診時骨髄検査所見)移植情報（移植日・移植前病期・ドナー情報・免疫抑制療法・支持療法）・予後情報(生存・再発・死因・移植合併症)
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p>	
<p>問合せ先： 〒232-0024 横浜市南区浦舟町4-57 横浜市立大学附属市民総合医療センター 血液内科（研究責任者）青木 淳 電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-241-2812</p>	